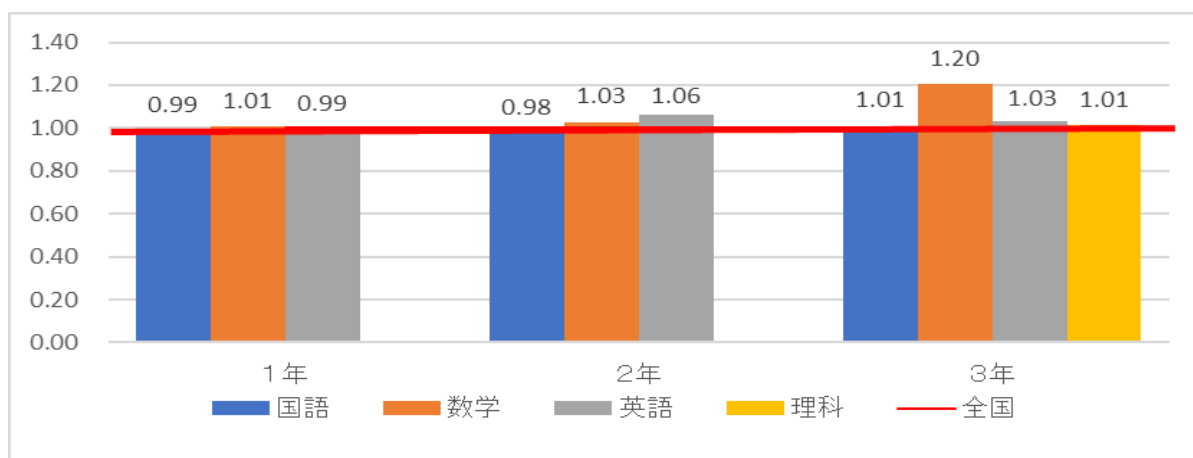


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 望が丘中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1,2年生ともに全国平均を下回った。1年生では「文法・語句に関する事項」、2年生では「漢字を書く問題」に課題が見られた。今後も引き続き、基礎・基本の定着を図りつつ「書くこと」にも特化した授業を行っていく。
	数学	1,2年生ともに全国平均を上回った。「データの活用」領域に課題が見られるので、問題文の様々なデータを読んで多角的に分析を行いながら、より多くの課題に取り組んでいく。
	英語	2,3年生ともで全国平均を上回った。単語や語彙の知識・理解に課題が見られた。文の構造や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、書く活動を通して改善を図る。
全国学力・学習状況調査	国語	全国平均を上回った。自分の考えなど根拠を明確にして書くことに課題が見られた。今後は、より相手に伝わるよう根拠を明確にして自分の意見をまとめる学習場面を設けていく。
	数学	全国平均を上回った。数学的な表現を用いて説明や証明する問題において無回答率が高かった。事象を数学的に理解し説明や証明をする記述式の課題に取り組みながら改善を図る。
	理科	全国平均を上回った。身の回りの事象から生じた疑問に対する課題を設定する力に課題が見られた。身近な現象から問題を解決するための課題を設定し、多面的で探究的な学習を進めていく。
	質問紙	授業での課題解決に向けて自分で考え、取り組んでいたかの割合が高く、全国平均を大きく上回った。既習内容を活用しながら課題解決に向け学習を進められる課題の設定を工夫していく。

○学力向上の取組

【中学校区】

以下の取組を通して、9年間の段差のない、絶え間ない学力向上をめざす。

- ・全国学力テスト・到達度テスト等の結果を分析し、共通の課題を見つけ、小中合同で研究授業や授業公開を行い、指導改善につなげる。
- ・ディベートを含め、各教科9年間を見通したカリキュラムの作成・点検・改善を行う。
- ・家庭学習の定着に向けて「自主学習ノート」の取組を改善する。
- ・各種加配教員による校種間連携を充実させ、各教科の指導方法の工夫改善を図る。

【学校】

学習内容の完全習得をめざして、以下の取組を行っている。

- ・1年生の数学で演習の時間（週1時間）を設定して、複数の教員が関わり、基礎・基本の確実な定着を図りながら、活用の課題にも取り組んでいる。
- ・少人数習熟度別学習（2年の数学・英語各週1時間1クラス3分割）で、1クラス複数の教員が関わり、理解度に応じて学習内容の定着を図る。
- ・5教科の授業開始時に、5分間で完結する小テスト（主に前時の復習）を実施し、各教科の学力向上に結びつけている。
- ・形成テストの補習を実施し、基礎・基本の授業内容を完全に習得させる。